

農作物技術情報 第5号 熱中症対策

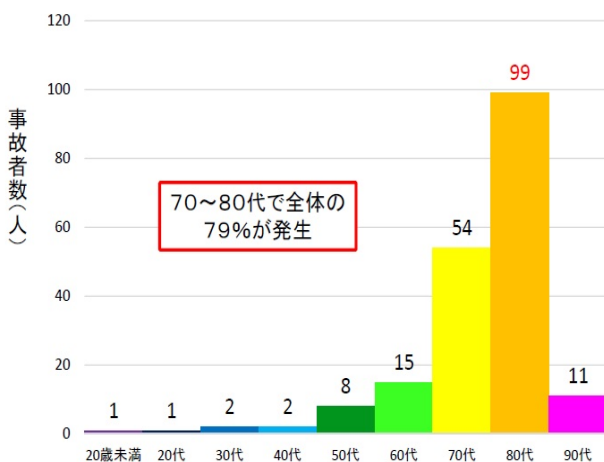
発行日 平成30年 7月 26日
 発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
 編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)



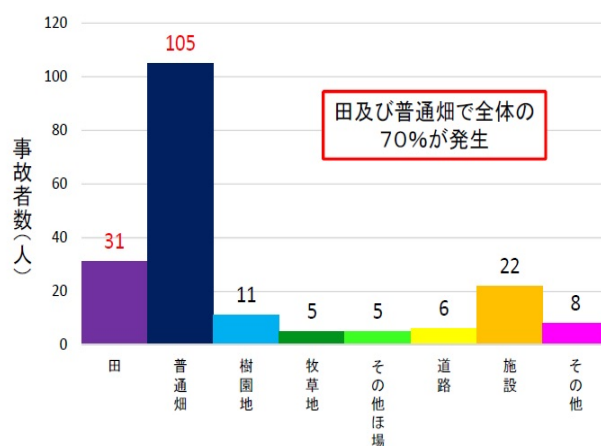
「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
 パソコン、携帯電話から「<http://i-agri.net/Index/gate002>」

- ◆ 夏の農作業は熱中症を生じるおそれがありますので、次の事項に注意しましょう！
- 熱中症の予防は、水分をとることと体温の上昇を抑えることが基本です。真夏日が続くような条件では、日々の体調管理は極めて重要です。
- 高血圧症・糖尿病等の持病や睡眠不足・前日の飲酒・朝食の未摂取等は、熱中症の発症に大きく影響しますので注意しましょう。
- 農作業中の熱中症による死亡事故は、7～8月に70～80歳代の方が1人で屋外作業を行う時に集中して発生していますので、特に注意しましょう。

農作業中の熱中症による死亡事故者数、年齢別(平成19～28年)



農作業中の熱中症による死亡事故者数、場所別(平成19～28年)



農林水産省調べ(道府県職員が厚生労働省の「人口動態調査」に係る死亡小票を閲覧する等の方法により調査)

農林水産省調べ(道府県職員が厚生労働省の「人口動態調査」に係る死亡小票を閲覧する等の方法により調査)

- ◆ なお、農林水産省より熱中症対策資料「農作業と暑さ指数について」「夏の農作業で気をつけること」「熱中症が疑われる場合の処置」等について出されていますので、参考にしてください。
- ◆ 熱中症対策を含む農作業安全対策全般については、農水省ホームページ http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/enzen/#necchuushou をご覧ください。

【農林水産省の熱中症対策資料より引用】

次号は8月30日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等、できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断するとともに、涼しい環境へ避難し、水分や塩分を補給すること。意識がない場合や自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても良くならない場合は、直ちに病院で手当を受けること。